

運送業界の健康支援を生きがいに

119 NASVAテキストとビデオ映像



先日、NASVAから、どきどきと分厚い6冊のテキストが届きました。なぜ私の手元にテキストが届いたかというところ、今年度から使用される一般講習用テキストの第2章「健康管理に関する事故防止対策」の執筆を担当させていただいたからです。1冊分の厚みが2冊もある、この重いテキストを見て、「これを勉強する人は大変だなあ」と受講者の方々の顔を想像しながら、感慨深いものを感じてしまいました。

実は、テキストの内容をビデオ的に補完する意味で、ビデオの制作にも携わっていて、私は半ば「原作者」になったような気持ちです(笑)。映像に写った自分のお疲れ顔はかなり気になりますが、『睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査の流れ』という大事な部分を説明していますので、皆様にはぜひビデオでもお目にかかりたいと思っています。

■SAS検査のお申し込みはお早めに
今年度の各ト協におけるSASスクリーニング検査の助成事業がそろそろスタートします。昨年度は多数のお申し込みをいただき、秋頃をピークに検査スタートまでお待ちいただくなど、ご迷惑をおかけしました。今年度はパルスオキシメータの台数も増やし、あまりお待ちいただくことのないよう、全ト協の指定機関の中では最もリーズナブルな価格、スムーズな検査を目指してスタンバイしています。予約も受け付けております。

■SAS確率は40%に迫る
26年度のSASスクリーニング検査の結果、精密検査が必要な人は、37.6%(25年度23.3%)と急増しています。なぜこのように高いのかと、急増の原因を現在分析中です。「事故惹起者の検査対象者が多かったから?」「予想される人を絞り込んだから?」など、いくつかの要因が考えられますが、その背景には昨年3月に起きた北陸自動車道での大事故がきっかけであることも否定できません。

OCHISでは毎年度、スクリーニング検査の結果から、年齢や体格指数、自覚症状とSASの関係などについて分析しています。今年度も1万4000人を超える結果がまとまりました。さらに、医療機関から報告された回答書に基づき、SASの重症度や治療方針をまとめた各種分析も行っています。これは、国交省や全ト協、各都道府県の協会へ報告をしていますので、ご興味のある事業者さまはOCHISまで一報ください。(次回は6月8日に掲載)

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL : 06-6965-3666
FAX : 06-6965-5261
東京オフィス TEL : 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP <http://sas.ochis-net.jp/>